



自治税務局都道府県税課法制係長

# 阿久津 佑介 AKUTSU YUSUKE

平成 20年 10月 総務省採用  
消防庁総務課  
平成 21年 6月 自治行政局地域自立応援課過疎対策室  
平成 22年 4月 長野県総務部市町村課  
平成 24年 4月 総務省大臣官房会計課  
平成 26年 4月 自治税務局企画課総務室  
平成 26年 10月 自治税務局企画課総務室総務係長  
平成 27年 4月 自治税務局市町村税課諸税係長  
併任 大都市税制係長  
併任 調査係長 (H28.4~)  
併任 企画課電子化推進係長  
平成 29年 4月 現 職

## 「税」、制度改革の最前線に立つ。

### すべては地方のために

地方税は、地方団体が提供する社会保障等の行政サービスの経費を賄うために、住民の皆様にご負担いただくものですが、地方分権が進展する今、地方税財源の更なる充実・確保のために必要な施策を講じていくことが自治税務局の使命であると日々感じています。地方税法は、各税目のルールを細かく規定しています。各団体は、このルールの範囲内で条例等を定めた上で、地域の実情に沿った課税実務を行います。地方税法は、社会・経済情勢の変化等に伴い毎年改正されますが、特に新たな税制度を企画・立案する際は、その増減収額、課税実務や経済界への影響、納税者の理解等を踏まえた多面的な分析が不可欠です。新制度の検討に没頭する時間は、言うなれば「生みの苦しみを感じる時間」でもありますが、「地方団体のことを一番に想う時間」であることも確かです。今後も、幅広い行政需要に対応するため、地方税が担う役割はますます重要になると考えています。

### 政治的決断を、支える

「一生分かり合えない」税制改正が本格化する平成30年秋、私は挫けそうでした。“国内自動車市場は存亡の危機にある”として大減税を求める要望省庁側。“地方の行政サービスの劣化を招く”として安易な減税に否定的な総務省。車体課税を巡る攻防は、互いに妥協を知らず、省庁間折衝は限界を迎えていました。迫られる決着。やがて舞台は「政治」の場に移ります。各省の想いを背負った国会議員が相対する税制調査会。大議論の結末は、歴史的なものでした。“大幅な減税を実現しつつ、国から地方への税源移譲等により減収に見合う地方税財源を確保する”自動車業界と地方団体の双方の立場を尊重した「政治的決断」の下での決着でした。税制は、公平・中立が原則です。自治税務局は、住民・地域・業界等に税制を通じた負担の偏りが生じないよう、また、時として求められる政治的決断が適切な情報に基づくものとなるよう、表から裏から地方税制度を支えています。



## Week Schedule

### Monday

今週の局議に向けて、資料構成を上司と相談！資料は室員と協力して作成します。

### Tuesday

自動車の燃費性能等について国交省からヒアリング。知らないことばかり…日々勉強です。

### Wednesday

翌日の国会で車体課税の質問が出るとの情報あり！正確かつ迅速に答弁を作成します。

### Thursday

自動車組立工場の視察をするため、某県に出張！現場のものづくりに対する情熱に感服。

### Friday

局議での議論が白熱。新たな検討課題が見つかるも、無事終了。夜は打ち上げです！

## Private Time

休日になると、遠出をしたくてそわそわします。海が好きなので、仕事終わりに友人と海に向かい、そのまま次の日まで釣りをする…なんて日も。写真はGWに旅行で訪れた石垣島の写真です。海の透明度は非常に高く、海底まで見通せる綺麗な岩礁帯や砂浜でのダイビング、シュノーケルはとても素晴らしい経験でした。

